

由利本荘市立東由利中学校



だいやま 台 山

【学校教育目標】
清らかにたくましく
学校だより
NO2
令和6年4月9日(火)



令和6年度入学式 新たな17名の仲間を迎えて

春めいた暖かな陽光の中、東由利中学校第58期となる新入生17名が晴れて入学しました。式では、先輩たちに見守られ、幾分緊張した面持ちながらも、堂々と返事をし、真



剣に話を聞き、「おめでとう」の言葉に会釈をするなど、しっかりとした態度で臨む姿に、これからの中学校生活にける意気込みが感じられました。新入生のみなさん、これから全校で共に力を発揮し、支え合いながら、よりよい東由利中学校を築いていきましょう。ご入学おめでとうございます。

～新入生「入学のことば」1年

さん～

やわやかな春の風に包まれ、東由利の大地にも、新たな生命の息吹が感じられるようになりました。わたしたちは、今日、この東由利中学校に入学できた喜びと、新たに始まる中学校生活への期待で、胸がいっぱいです。

わたしたちはこれまで、最高学年としての責任を強くもち、東由利小学校をリードするために、全員で協力し合ってきました。これからは、この仲間とともに、学習や部活動に全力で取り組み、中学校生活が充実したものになるよう、努力していきます。そして、よき先生方、素晴らしい先輩方を見習い、一日も早く学校生活に慣れるようにしていきたいと思います。

これからの三年間では、困難な場面に出合うこともあると思います。そんな時こそ仲間と協力し合い、お互いに励まし合い



ながら進むべき道を切り拓き、清らかに歩んでいきたいと思います。

わたしたち新入生は、今日の日を祝福してくださったご来賓の方々、先生方、そして先輩方への感謝の気持ちを忘れません。そして、この伝統ある東由利中学校の生徒の一員になれたことを誇りに思い、中学校生活のその先にある、それぞれの目標を達成できるよう、切磋琢磨しながらたくましく、一歩ずつ努力を積み重ねていくことをここに誓います。



～在校生「歓迎のことば」3年

さん～(抜粋)

東由利中学校には、みなさんを、さらに成長させる場がたくさんあります。その中でも特に大切な場を3つ紹介します。

1つめは「授業」です。授業は、知識を広げるだけでなく、考える力、表現する力を伸ばす絶好のチャンスです。特に東由利中学校では、「表現力」を重視した授業が行われています。多くの人の前で、自分の考えや思いを発言するには勇気が必要ですが、自分を成長させるためにもぜひ、挑戦してみてください。みんなが、発表をがんばることで友達のアイデアや考えから、新しい発想が生まれたり、自分自身の考えを、さらに深めたりすることにもつながります。また、得意な教科だけでなく、不得意教科にも積極的に取り組むことは、将来の可能性を広げることもつながります。小学校で苦手だった教科の学習であっても、先生方や上級生からのアドバイスを参考にして克服に努めることにも挑戦してみてください。



2つめは、部活動などの課外活動です。東由利中学校には、体力面だけでなく、精神面を鍛えることができる野球部とバスケットボール部、卓球部、仲間と共に、きれいな音色を響かせることができる、吹奏楽部があります。また、スポーツ少年団や、地域のクラブに所属している人たちもいます。技術や技能を身につけるために一生懸命、仲間と競い合ったり、課外活動と学習の両立を図るために努力したりすることによって、技能の向上や、身体的な成長だけでなく、気持ちの面においても強く、たくましく鍛えられていくはずですよ。

3つめは「学校行事」をはじめとする「地域とのつながり」です。東由利中学校は、ここ数年、全校生徒合わせて50人前後と本荘由利地区でも1、2を競う小さな学校となっています。生徒が少ないために、体育祭や東中祭、小中合同駅伝などの行事の際には一人に2つも3つも役割が回ってることがあります。大変ではありますが、視点を変えると自分の存在感や責任感を高められ、さらに、行事を成功させられたときには大きな達成感や充実感を得ることもできます。また、今年度、生徒会では「地域を魅力的にする活動」として地域行事やボランティアに多く参加していきたいと考えています。新入生の皆さんも、ぜひ、積極的に参加し、私たちと一緒に、東由利を盛り上げていきましょう。



歓迎の言葉にも中学生らしい態度で傾聴

式前の説明や式後の学活にも真剣そのもの

湊市長に祝辞をいただく記念すべき式に

4/6(土)～15(月)まで春の全国交通安全運動期間となっており、本日から職員も要所に立って安全な通学の確認や指導を行っています。特に1年生は、通学方法や通学路も変わっているので、登下校時の十分な安全確保に努めましょう。